

平成 29 年度第 5 回白馬村図書館施設検討委員会議事録

日時 平成 30 年 3 月 8 日 (木)

午後 3 時 30 分から

場所 白馬村役場 3 階 302 会議室

- 1 開会 生涯学習スポーツ課 松澤課長
- 2 あいさつ 富山委員長、花井裕一郎氏
- 3 会議事項
 - (1) 平成 29 年度の報告について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉会 生涯学習スポーツ課 松沢係長

出席者

検討委員 富山正明、太田史彦、内山葵、太田雄介、太田和也、小川由美子、長島律子、高橋英子、宗川尚美

ファシリテーター 花井裕一郎

事務局 生涯学習スポーツ課長、課長補佐兼係長、公民館主事

傍聴 蓮井さん

白馬村図書館施設検討委員会（第5回）会議録

開催日時	平成30年3月8日（木）PM3:30～PM5:30
開催場所	白馬村役場3階 302会議室
出席委員	富山正明、塩島弘之、太田和也、小川由美子、宗川尚美、長島律子、高橋英子
事務局	生涯学習スポーツ課長、生涯学習スポーツ課長補佐兼生涯学習スポーツ係長、公民館主事、白馬村図書館司書
傍聴者	1名（蓮井）

◆あいさつ

委員長

本来はもう少し進められれば良かったが遅れているようだ。今回は基本構想の基本的な計画を進められればと思う。

花井

今年度最後ということだが、まだまだ意見を出して頂きたい。図書館＝本は基本となるので、その上にどんなサービスが必要になるか吟味していく必要がある。

◆報告案について

係長 基本構想を資料として後方に添付した。答申ではなく報告として挙げる。秋ごろに答申を挙げて基本構想の策定の委託業務を実施する。4ページには図書館の現状がありデータを最新のものに置き換えた。5ページには白馬村図書館の課題を掲載した。6ページは運営の理念があり、基本計画である。7ページは実績、8ページはWSの実績がある。9ページ以降を資料と位置付ける予定。20ページには幼稚園でのアンケートの結果を添付した。コンセプト・理念を載せるページも用意する。30年度の答申で決める予定だが、白馬の自然や山を生かしていくという考えを載せる。

委員長 今年度のまとめとして、どういう方向で進めるか集約したページが必要だと考えた。図書館というよりは人が集まれる空間として白馬らしさを考えると山や自然が挙げられた。そのような意見をページ文章として載せたい。キャッチフレーズは業者、花井さんのような方をお願いしていきたい。この間は白馬の自然や山がベースとしてあると挙げられたが、その他に落とし込みたいもの

があれば意見をいただいて次の運営を考えていきたい。集約したものをつけて今年度のまとめとして載せていきたい。

委員 資料7の出典、日時を載せる必要がある。報告書も結果から考えた検討結果をまとめて報告書にする必要がある。

委員長 WSの結果でも、どういった点が多く出てきたのか包括してまとめる必要がある。その中で村民の要望が強いものをまとめていかないといけない。何を重視してどういう形で表現していくかが必要。

委員 この意見を元にコンセプトを考えました、というたたきが必要だった。結論をまとめる。

委員 答申の骨組みは概ねの報告書と変わらないのか。

委員長 1番最後の資料「新図書館の建築計画」の内容をより具体的にしていけないといけない。みんなの意見を伺った上で、白馬らしさを強調した場を作っていってほしいという意見が出たと思う。今回はそこまでの話をしようと思う。コンセプトを羅列ではなく明確な文章として報告書として決めていく。

委員 この報告書には村民の生の声を汲み取って、もっと村民に目を向けてほしいし伝えたいと思っている。

委員長 報告書は公表はされるが村民向け役場向けという書類になる。1枚加えてほしいという紙が今後のベースになっていくと思う。村の人の意見を取り入れて基本的な方向性をある程度決めていく。

係長 役場のWSはまとめているところです。。

委員長 役場の意見ではこんなものが出ているという風に紹介してほしい。

委員 報告書は目的、方法、結果が必要。事務局が忙しくて出来ないのであれば、副委員長に議事録を書かせる等、来年からは支持を出してもらった方がスムーズに進むと思う。

委員長 具体的な話をどんどん出す必要がある。単に新しい図書館を作るのではなくて、より村民の意見と乖離しない図書館を作るためにどう探るのか決めるためにこの委員会がつくられ、WSをしてきている。5か年計画でも挙げられている様に多様な人に向けた図書館を作る必要がある。今までのWSから拾いあげていく必要がある。

会議のやり方の中で、黒板にまとまりを作っていければ良かった。例えば勉強に関するワードが出たら静かに・友達と・食べながら、みたいにまとめていく。系統図のようなものを書いて可視化することも大切。

委員 前回の時に15人の役員で半分しか出ないというのは、という話が出た。

係長 学校の先生は3月に入ると忙しいということで出席はできないということ伺った。小林さんは体調を崩されて入院しているとのこと。

委員長 学校との関わりとの話をお聞きできれば。

委員 南小の子らは図書館の話はあんまりしていないのか。

委員 あまりしてはいない。

委員 学校の図書館で満足している節がある。

委員 111 人生徒がいるが、どんどん新刊いれてもらっている。

委員 図書館だよりとかも出してもらって、学校図書館で満足しているという感じがある。中学にも意外と新刊が早く入っている。

委員長 今後新しい図書館を作る中で、図書館がどうフォローしていくか実際に行って、司書が行き来するとかなんかのきっかけで来てもらうとか取組をしてもらう。

委員 コンセプトから場所が決まるという話が出た。そこから交通の事を考えると、交通不便な方に向けてバスが必要とかの話にもなる。

委員長 細かいことは来年以降に決めていく。今決めたいのは中心になるところ。今は自然とぬくもりの大きな二つが出てきた。図書館としての位置づけではなく、こういうコンセプトが生かせる場、そこに図書館もリンクしていく。勉強する人が来るだけの図書館ではないというWSで出てきた意見を中心に据えて、ぬくもりが感じられる施設が中心になっていければというのが前回の話だった。

委員 木とぬくもりを感じられる図書館など。

委員長 基本に据えているものを白馬の図書館のコンセプトとして生かしていく。

委員 今思ったのは、そんなに自然が知れ渡っているとは思わない。北アルプスで何みたいなの、あんまり知名度が浸透しているわけではない。みんなにイメージ持ってもらうためには、山だとか押しつけがましいものではなくケルンなどの山岳用語など、聞けばイメージが出てくるのが良いと思う。みんなの道標となるもの、ストーリー性を持たせるといい。

委員 山岳用語でみんなが知っているような。

委員長 ひっかかるような言葉をいれるといいと思う。シンプルかつ奥深いものもいいと思う。専門用語にはせずに、なんとなく聞いたことがあるなどそんな程度にすると良いと思う。アンケートで気になったのが、無駄遣いしないでという意見があった。あるものを活用して付け加えるとかリノベーションしていくことが大切。

委員 山脈とかアルプスとか。

委員長 アルプスとかいっぱいある。白馬という言葉は外国でも伝わるくらい

メジャーといえばメジャー。

委員 スキー場とかしかイメージが湧かない。

委員 どのくらいの人が集まれるか、利用できるのか。白馬の人だけが使うとなると。

委員長 ただ図書館を大きくするだけならこの会議は必要がない。みんなが集まれる場所として門戸を広げて今まで使ってこなかった人も呼び込みたいと考える。

課長 むらごと自然園 人が集いぬくもりあふれる ふれあいの館
議事録から大体まとめるとこういうコンセプトになると単純に思ったものを書いた。ぬくもりとふれあいはおかしい、など文字を入れ替えたりするのが1番てっとり早いと思う。

委員長 むらごと自然園って前回の総合計画の頭ではないのか？

課長 どこでも遊べるし色々な所で触れ合える場所になるということから、第4回の総合計画の頭として使われている。

委員長 逆に言うとどこでも遊べるからまとまりがつかなかった。要するに集まって交流したいということ。むらごと自然園を生かすのは間違いではない。

委員長 ケルンは面白いと思う。

委員 ケルンが似合う町は他にはないと思う。白馬くらい。

委員 シンボルとして良いかもしれない。

委員長 入口に置いてなんとなく写真を撮れるような、下手に景観を壊さないようなものが良い。ケルンは山頂ではなく道標としてなるものとしてある。図書館は最終ではなく道標を与えてくれるもの。

課長 道標という意味の中には手引きするという意味がある。ケルンという言葉の広がり面白いと思う。

委員長 今年度のまとめとしてはこれを入れよう。図書館自体が何かをするわけではなく、行く事で何か起きるそういう役割を果たしていく。ケルンは大きな意味では視界が悪い時には迷わないで済む。

委員 八方尾根のケルンは学校の教科書に載るくらい有名。

委員長 村の人はケルンの名前を知っているし、村外の人には調べてもらえばいい。

委員 花井さんはケルンを知っていますか？

花井 ケルンは全く知らなかった。ただ考え方は面白い。

委員 みんなが分かる者の方が良いと思う。

花井 まちとしょテラソなんて誰もわからないのでポリシーなどが大事。テラソは照らそうという意味で付けた。外国人の方からはあまり良い言葉ではないと言われた。

委員 案としては「山岳用語からイメージしやすい言葉を使う。たとえばケルン」という風に提案していくのが良いと思う。委員 図書館ということは少し厳格なことを残す必要もあると思う。

委員長 人がケルンに向かって歩いてきてくれるというのが大事で、そこを作っていきたいとアピールする必要がある。

委員 これを話せばいい館長がきてくれると思う。

委員長 今までのアンケートやWSでみんなが求めている意見から、とにかく人が来てワイワイする場所も静かにできる場所、のんびりできる場所など色々な場所があればいいと思う。

係長 まとめた意見を富山さんに見てもらって、皆さんに送って確認してもらおうという方向で良いか。

委員 WSの結果を見て、居心地の良い場所を求めているのかなと思った。居心地が良ければ人が集まるのかなと思った。

委員長 気兼ねなく、敷居が低い、などそういうスペースが欲しいというのはある。

委員長 他に意見は無いか。

課長 広い窓は必要。

委員 自然を感じられる、も良いと思った。

委員 ちなみに標高を考えると、どこの図書館が高いのか。

委員 「岳の観えるいこいの図書館」を挙げる。ぬくもりあふれる広場という言葉があると良い。岳は低い山というよりは高い山がイメージとして沸くと思う。自然を感じるというのも、自然を肌で感じるというのが良いと思った。

委員長 五感でも良いと思った。すごくイメージできてきたと思う。

委員 こういうのを小中学生に降ろしてネーミングを募集してもいいと思う。

委員 先に名前決めた方がいいのか。

委員 なんとなく決まってもあえて流さず、自分たちで決めたという風になれば図書館に目が向いていくと思う。

花井 これから名前を決めていくと思うが、決まるまでは名前を公表しない方がいい。経験上ブローカーに取られる。最終的には便利屋の先生等に名前を調べてもらって登録するが、すごいがっかりするので公表は最後の方が良い。

委員長 いかがでしょうか。方向性は見えたと思います。

委員 報告書の中で道標とあるが、委員会がどういう行程を進んでいくのか明示したものが欲しい。すごろくみたいな感じで道のりを示していけば理解して

もらえらると思ふ。

委員長 明文化して行く必要がある。

委員長 館長が出てくるとまた話が別になる。

委員 白紙になるということか。

委員長 建物の動きと、実際に作った後の話が別のベクトルで出てくる。館長にはできた後のことを考えてもらふ。館長が中心にならないといけぬ。開館したときにはちゃんと運営できるようにしないといけぬ。

花井 館長は経営者なので図書館に詳しくある必要はない。設計者も理念にシンパシーを感じて作り上げていった。館長の選び方によっては今までの考えをひっくり返す人もいる。

委員長 肩書きとか経歴で選ぶといけぬ。白馬に共感してもらわないといけぬ。

委員 白馬を愛する人とか書いておかないといけぬ。

委員長 肩書きが固い館長がきたら、今までの意見をつぶされる可能性もある。

花井 お金も重要だが熱意が 1 番どういふところが大事か。司書の資格が必要等。マネジメント力を重視するなど、言い方は悪いけど色々な人を選択できる。

委員長 相談した上で来年度募集かけたいと思ふ。委員長 これからもこういう風に進められればと思ふ。これらを集約してもう 1 度送って最終として頂きたい。